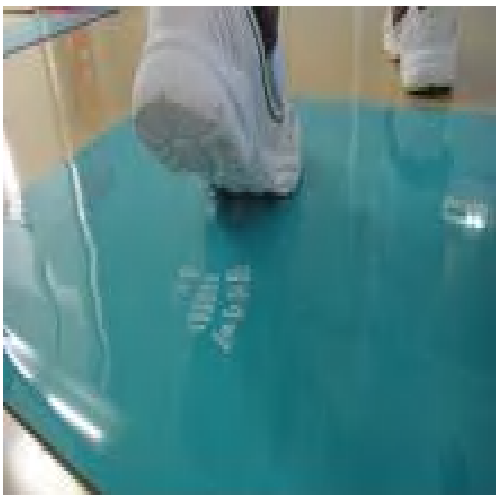
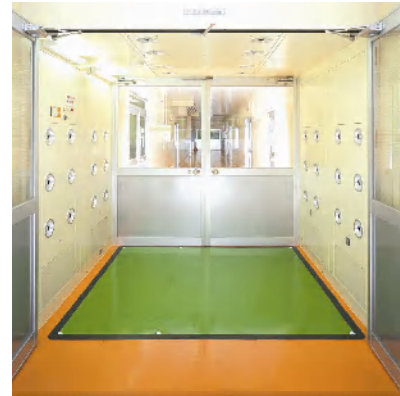


粘着マットで汚れを見えるように

半導体などの精密部品や食品、又は医療に関するものを製造している工場などでは、空気中に漂う埃やチリなどの異物を取り除き清潔な状態を維持しているクリーンルームと呼ばれる部屋があります。

クリーンルームに入る時には、壁の上面・左右にある穴から空気を射出して服についている埃などを吹き落とすエアシャワーと言われるものと靴底の汚れを吸着させる粘着マットと言われるものの上を歩いてから入室します。

今回はその中でも粘着マットについてちょっと説明します。



粘着マットの使用には、靴底や台車のキャスターに付着しているゴミを吸着させるという目的がありますが、最近ではこの粘着マットを使用し汚れを見える状態にすることで、従業員のクリーン化に対する意識を高めている工場があります。

粘着マットに、きれいな靴・床がしっかりと作り上げられているかをチェックするものとしての役割を持たせるというのです。

つまり汚れた靴で上を通ると跡が汚れとともに残るけど、きれいならばそれほど跡は残らないということになります。

※ ちなみに粘着マットには白・青・緑色がありますが、使用環境によって使い分けられているのをよく見ます。

埃やチリを見るなら色のはっきりしている緑や青、髪の毛の落下に気を付けたいなら白を使うとはっきりします。



最後にこんな粘着マットも紹介させていただきます、従来品の床に設置するタイプではなくエアシャワーのある壁に直接貼るタイプです。

空気ではこりを吹き飛ばした後に床だけでなく壁面で直接埃をキャッチできます。

御社に最適なアイテムを提案させていただきますので、弊社営業担当にお気軽にお問い合わせください。